

日本語教育の現場における条件表現ナラの効果的な提示のしかた ——話し言葉と書き言葉におけるナラの用法分類から——

奈良 夕里枝

1. 問題の所在

日本語学習者にとって習得が難しいものの一つに条件表現がある。それは、日本語が他の言語にはあまり見られない多様な類義表現を有しているためである。代表的な条件表現を表すものに従属節（前件）と主節（後件）をつなぐ条件接続辞バ、タラ、ナラ、トがあるが、それぞれに微妙な使い分けがされている。

条件表現の習得研究については多くの研究がなされてきた。しかし、習得研究についてもバ、タラ、トに関する研究が多く、ナラは他形式に比べると研究が盛んとは言えないが、ナラに関して興味深い指摘もある。稲葉（1999）は英語を第一言語とする45名の日本語学習者に条件文の正否識別テストをした。その結果、「と・ば（動作性）」の習得は難しく、「ば（状態性）・たら・なら」条件文の習得は容易であることがわかった。また、ニャンジャローン（1999）ではタイ語を母語とする日本語学習者338名に対して条件文の文法性判断テストを行った。その結果、「と」「なら」「たら」「ば」の順に正答率が高いことを指摘している。このような指摘から、ナラはその意味の特殊性のために学習に負担がある一方、一度習得すれば微妙な使い分けがバ、タラ、トに比べて少ないため学習者にとって習得しやすい条件表現であるとも言える。

それでは、実際のテキストでのナラの扱いはどのようになっているのだろうか。代表的な3つの教科書を見てみたい。代表的な教科書として、1998年に初版が発行された『みんなの日本語Ⅰ』（1～25課）、『みんなの日本語Ⅱ』（26～50課）、2007年、2008年に発行された『J. BRIDGE FOR BEGINNERS Vol. 1』（1～21課）、『J. BRIDGE FOR BEGINNERS Vol. 2』（1～21課）、2011年、2012年に発行された『できる日本語初級』（1～15課）、『できる日本語初中級』（1～15課）を取り上げ、条件接尾辞のナラのどの用法がどの段階で、どのように扱われているかを調査した。

表1 日本語の教科書でのナラの扱い

	条件的用法	提題的用法	その他
みんなの日本語 初級II	—	35 課	—
J. BRIDGE FOR BEGINNERS Vol. 2	9 課	7 課	—
できる日本語 初中級	4 課	1 課	—

『みんなの日本語』では35課の最後の文型として「北海道旅行なら、6月がいいです。」の名詞+ナラの提題的用法が初出として登場する。初級は50課までであり、使役、受身、尊敬語、謙讓語等の初級の後半の項目は扱われていくものの、仮定的用法のナラは学習項目にない。その他の条件接続辞については、バは17課と20課で「パスポートを見せなければなりません（見せないといけません。）」の非条件的用法の慣用的用法である義務表現が扱われる。35課で「春になれば、桜が咲きます。」「天気によければ、向こうに島が見えます。」のバの仮定的用法が文型として挙げられる。また、トの条件接続辞の仮定的用法は『みんなの日本語初級I』の23課で「このボタンを押すと、お釣りが出ます。」、タラは25課で「雨がふったら、出かけません。」が学習項目になっている。

『J. BRIDGE FOR BEGINNERS Vol. 2』では、7課で「学生なら、少し安くなります。」の名詞+ナラの提題的用法が挙がっており、9課で「デートするなら、どこへ行きたいですか。」「結婚するなら、どんな人がいいですか。」のような仮定的用法が学習項目になっている。他の条件接続辞に関して『J. BRIDGE FOR BEGINNERS Vol. 2』では多様なバを文法項目として扱っている点が特徴的である。5課で「日本で最初に新婚旅行をした人と言えばだれですか。」の非条件用法の後置詞的用法が扱われる。そして、7課で「がんばれば成功します。」の仮定的用法が扱われる。11課で「かぜがなかなか治らないときは、この薬を飲めばいいです。」「夜なかなか寝られない時は、どうすればいいですか。」の非条件用法のバイイが文法項目に挙げられている。以上のように、『J. BRIDGE FOR BEGINNERS Vol. 2』ではバについては非条件的な表現も幅広く取り上げている。トは1課で「青と黄色を混ぜると、緑になります。」を、そして、タラは2課で「国に帰ったら、手紙をください。」を提示している。

『できる日本語』では初中級の1課で「簡単な料理なら作れます」の名詞+ナラの提題的用法が登場し、4課で条件的用法の仮定的用法である「運動をするなら市民運動公園がいいですよ。」を扱う。その他の形式を見ると、バについては初級の14課で「あ、Bさん、シートベルトをしなければなりませんよ。」、初中級の3課で再び「来月、大学の入試試験を受けるので、勉強しなければならいんです」と非条件的用法の慣用的用法である義務表現が登場し、9課で「メニューを覚えれば、働くことができますよ。」と仮定的用法が扱われている。タラとトの仮定的用法については、初級の14課で「あっ、そのボタンを押すと、開き

ますよ。」、初級の15課で「1000円以上買ったら、プレゼントがあるそうですよ。」が提示されている。

『みんなの日本語』と『J. BRIDGE FOR BEGINNERS』では、バの仮定的用法と共に名詞+ナラが登場しており、このことからバが名詞に接続したものがナラであると捉えていることがわかる。教科書でこのように提示されれば、学習者も初出のナラを見て、バの名詞に接続する形がナラであると理解するだろう。しかし、教科書で扱われた名詞+ナラは非条件的用法の提題的用法であるため、条件的用法の仮定的用法バと同時に学習者に提示することで、学習者が混乱を招く恐れがある。それに対し、『できる日本語』では独立してナラを提示している。

本稿では学習者の習得研究の基礎となるよう、日本語母語話者の用法の使用実態を書き言葉と話し言葉に分け、用法に沿ってコーパスから母語話者の使用実態を調査し、各用法における代表的な用例を、日本語教材作成に役立つ各用法の例文集として示すことを目的とする。

2. 条件表現の意味用法分類

現代日本語における代表的な4つの条件接続辞ナラ、バ、タラ、トは、大きく「条件的用法」と「非条件的用法」に分けられる。条件的用法を表す条件文とは、前田(2009)に従い、『「仮定的」かつ「順接」の「因果関係」を表す「論理文』』とし、その中で使われている条件接続辞を「条件的用法」のはたらきを果たしているものとする。「条件的用法」および「非条件的用法」をどのように分類するかについては多様な立場が見られる。

有田(2007)では「条件文が不確定な知識に基づく推論の明示的な形式である限り、これ以外の種類の条件文はないと考える」とし、事実的用法や非条件的用法を研究の対象にはしていない。条件文の分類について、真偽が決まっているかどうかを意味する「既定性(Settledness)」と、二種類の不確定性の観点から条件文を三種類に分類している。二種類の不確定性とは「当該命題がまだ実現していない事態の真偽を問うものであるために、(誰にとっても)真偽が決定できない場合」と「実現している事態の真偽を問う命題であるにもかかわらず、話し手が事態の真偽を知らないことにより(話し手にとって)真偽が決定できない場合」である。これらの観点から条件文を、「前件が既定ではない命題であるような条件文」を「予測的条件文」、「前件が既定的な命題で、話し手がその命題の真偽を知らないような条件文」を「認識的条件文」、「前件が既定的な命題で、かつ、話し手がその命題が偽であることを知っているような条件文」を「反事実的条件文」と定義している。

前田(2009)では前件と後件のレアリティーの観点から「条件的用法」を以下のように分類している。

表2 前田 (2009) の条件接続辞の用法
(条件的用法のみ抜粋)

条件的用法	仮定的	反事実		事実的		
		仮説			事実的	
	非仮定的	多回的	一般・恒常			
			反復・習慣			
		一回的	様々な状況	連続		
				きっかけ		
発現						
発見						

「反事実用法」が仮定性が最も高いことには従来の諸説でも異論がなく、また、日本語学習者にとっても理解しやすい。しかし、「仮説」と「多回的」の区別に関しては、前田 (2009) では、それぞれ、「仮定的」「非仮定的」と、カテゴリーを区別しているが、実際には、同じ文でも状況によって「仮説」としてとらえられたり、「多回的」としてとらえられたりするため、本稿ではこれをまとめて「仮定的用法」とする。

(1) A: 明日、春一番が吹いて春が来るそうですよ。

B: 春になったら桜が咲きますね。一緒に花見に行きませんか。

(2) 日本では、春になったら桜が咲きます。

(1) は「仮説」か「多回的 (一般・恒常)」か分類に迷うであろう。(2) は (1) とほとんど同じ文であるが、「多回的 (一般・恒常)」と判別できる。また、

(2)' 日本では、春にならなければ桜は咲きません。

という裏の意味を含意していることから、「多回的」は「仮定的」であると考えうのではないだろうか。日本語教育という視点で見た場合、この2つの用法を分けずに「仮定的」と分類しておく方が利便性が高いと考える。もちろん、史的に日本語は仮定条件と確定条件で異なる活用形にバカ接続する形を持っており、文法史の流れに沿ってとらえるとこの区別が重要であることは確かであるが、例 (1) と (2) のように仮定条件と確定条件が同形である現代に関しては、分類の指標が難しい。

条件文は『「仮定的」かつ「順接」の「因果関係」を表す「論理文』』である。そうすると「一回的」は全て事実を表しており、条件文とは言えないとする有田の一連の研究等における所説が出てくるのは当然のことである。しかし、日本語学習者が条件接続辞に注目し、その意味用法を考えていくというスキーマを考慮すると、考察の対象から外すべきではないだろう。仁田 (2009) をはじめとする一連の研究における『〈継起用法〉を表す「スルト」「シ

タラ』がこれにあたり、蓮沼（1993）により事実的用法と呼ばれるようになった。ナラにこの用法は見られなかったが、条件接続辞の一つの用法として、「非条件的」の下位分類として「事実的用法」を位置付けたい。

条件接続辞が事実を表す場合は蓮沼（1993）に従い「事実的用法」とし、「非条件的」であるとして分類する。

次に、条件接続辞の非条件的用法について考えたい。非条件的用法の下位分類について、前田（2009）をまず見てみる。

表3 前田（2009）の条件接続辞の用法
（非条件的用法のみ抜粋）

非条件的	並列・列挙
	評価的用法
	終助詞的用法
	後置詞的用法
	接続詞的用法

前田（2009）では「評価的用法」に関して、ナラの特殊な点として、「単に仮定的な事態を取り上げると言う機能だけを果たすのではない」こと、ならびに「他の接続辞とは異なり、評価的用法をもたない（*ならいい）」ことを挙げている。しかし、今回の調査ではナライイの形が多くみられ、評価的用法と言えるかどうかについては今後の議論を俟ちたいが、ひとまず本稿ではナライイ類として新たに名付けて、用法の一分類として扱うこととする。

(3) でも、お元気で **100** ならいいじゃありませんか。

(4) みんな上で一緒になろうって いうん ならいいけれど、下で平等になろうというね。

(5) 手伝ってもらうならいいけど。

(3) は「いい」の意味がそのまま維持されているが、事態に対して話者がいいか悪いかを判断して述べている点から評価的であると解することができ、(4) は現実に評価をし、(5) は「してもいい」といった許容を表しているため、本稿ではナラにも評価的な働きがあるものとする。さらに、より多くの例文を分析し、評価的と言えるかどうかを確認する必要があるが、本稿では暫定的に文中に現れる形がナライイ、ナラダイジョウブ、ナラダメ等、ナラに評価的な語彙がつくものをナライイ類として分類しておく。

また、ナラに特に多出する「提題的用法」も本稿では分析の対象とする。

大野・キンベリー（2005）では「文法規則にもとづく条件節」と「ば」の「語彙化・慣用句化した表現」を分け、「例えば、そう言えば、そう言われれば、そう言われてみれば、～ばいい、きゃいけな」などを「語彙化・慣用句化した表現」として挙げている。バイイは上で示したようにバイイ、タライイとの兼ね合いも考え別項目として立てたが、それ以外のものを「慣用的用法」とする。「慣用的」という分類は客観性に欠け、判定が難しいと考え

られるため、本稿では、日本語教育的な立場から日本語能力試験旧試験で公開されていた文法の出題基準にあるものを慣用的用法と規定する¹⁾。

収集した例文の中で言い間違いや、話している途中で発話の内容が変化していったり、文にねじれがあったり、また後件が省略されていて分類をしかねるものは分析の対象外とする²⁾。

以上より、本稿では条件接続辞を表4のように分類する。

表4 条件接続辞の用法

条件的用法	仮定的用法
	反事実的用法
非条件用法	事実的用法
	並列・列挙
	バイイ、タライイ、ナライイ、トイイ類
	提題的用法
	終助詞的用法
	後置詞的用法
	接続詞的用法
	慣用的用法

3. 書き言葉と話し言葉におけるナラ

本章では表4で提案した分類により、書き言葉と話し言葉におけるナラの使用傾向を見ていく。使用するコーパスは奈良(2014)と同じく、名大会話コーパスとBCCWJの書籍コア(2000~2008年)を用いる。名大会話コーパスは平成13年~15年に作成された、約100時間分の雑談を文字化したコーパスである。内容の大半は親しいもの同士の雑談であり、会話参加者は女性161名、男性37名で、年齢、出身地は様々である。1組30分~1時間の会話が文字化されている。一方、BCCWJは書き言葉の均衡コーパスであり、書籍の中にも多様なジャンルのものが混在している。小説の他にも、入門書やハウツー本、自己啓発推奨タイプのものなど様々である。また、書き言葉ではあるが、読者に語りかけるように、丁寧体(です・ます体)で書かれているものも多くある。このような本のジャンルによっても条件接続辞ナラの用法の出現頻度は異なると予測されるが、本稿では日本語学習者が日常生活でよく目にする書き言葉として書籍全般について分析を行なう。

ナラの大きな特徴はその接続形式である。バは用言のバ形接続、タラはタ形接続、トはル形接続であるのに対し、ナラは用言のル形、タ形、名詞、助詞、副助詞など、多様な文法形式に接続する。本稿では接続辞として出現するナラを対象とし、接続する文法形式は問わず

分析対象とする。また、ナラとナラバは区別せず、分析ではナラで代表させる。

3.1 話し言葉と書き言葉における条件接続辞ナラの用法

話し言葉と書き言葉の条件接続辞ナラの用法を分類して下の表にまとめた（なお、「ナラバ」の形も併せて扱う）。同じ資料でバは話し言葉で 2319 例、書き言葉で 564 例を数えたのに比べ、ナラは、話し言葉で 333 例、書き言葉で 118 例と、そもそもの出現頻度が低いことがわかる。

表 5 話し言葉と書き言葉における条件接続辞ナラの用法

		話し言葉 用例数	話し言葉 %	書き言葉 用例数	書き言葉 %
条件的 用法	仮定	125	38.0%	62	52.5%
	反事実	4	1.2%	10	8.5%
非条件的 用法	事実的	0	0%	0	0%
	並列・列挙	0	0%	2	1.7%
	ナライイ類	49 ³⁾	14.7%	0	0%
	提題的	74	22.2%	10	8.5%
	終助詞的	0	0%	0	0%
	後置詞的	10	3.0%	11	9.3%
	接続詞的	45 ⁴⁾	13.5%	15	12.7%
	慣用的	26	7.8%	8	6.8%
計		333	100.0%	118	100.0%

まず、話し言葉で使用されたナラの用例を見ていく。話し言葉で最も多く見られたのは、仮定的な条件を表す用法で 38.0% であった。

- (9) おんなじぐらい掛けて行くならハワイがいいと思う。
- (10) F106: でも、多いらしいねー、最近ほんとに芸能人になりたい人。EOS F106: (ねえ) で、うちのお母さんとそうやってしゃべってて、(うん) で、もし F106 が勝手にオーディションとか応募して受かったーって言ってきたらどうするって聞いたの。EOS F106: (うん) そしたら、ママが、えっ、それだったらやらせるとか言い出して。EOS F106: あんなに芸能界とか嫌だ嫌だ騒いでたのにそうやって言ったから、F106 が、えっなんで? って言ったら、受かったなら、才能があるってことだからいいじゃないのよとか言って、() なんか受かりもしないくせになりたいなりたい騒いで、タレントスクール入れてーとか言ったら、それは死んでも入れないけど、とか言って。EOS
- (11) M037: お母さんみたいに香水、(ああ、ああ) 香水つけた人のそばにいられないと

- いう人もいるし、全然平気だっていう人もいるわけでしょう。EOS M037：(うん)で、どっちがいい悪いじゃなくて、(うん)ね、香水に敏感なら自分はずけないだろうし、まあ、強ければ強いところには行かないように避けるだろうしと。EOS
- (12) F140：洗い物とかっていうのはすごい。EOS F024：きついよー。EOS F140：ねえ。EOS
- F024：もうだから2~3人分ならさあ、(うん)ばばってできるじゃん。EOS
- F024：5~6人分でしょう。EOS F024：しんどい。

(9)は動詞+ナラ、(10)は動詞+タナラ、(11)はナ形容詞+ナラ、(12)は名詞+ナラと多様な文法形式・テンスに接続する特徴が話し言葉コーパスでも確認できた。仮定的用法の意味特徴は、益岡(1994)で指摘された「前件が成り立つことを仮に想定し、その想定のもとで、後件で判断や態度の表明が行われる」点ならびに「前件が成り立つかどうかの判断は保留されている」点である。以上のように、ナラで仮定的用法が最も多く見られたのは、接続する要素の多様さと、後件にモダリティの制約がないからであると考えられる。

次いで、非条件用法の提題的用法が22.2%であった。特に名詞に接続する形が多かった。⁵⁾

- (13) F128：でもうちの母親、最近、携帯を持って、メールを一生懸命覚えました。
F116：偉いねえー。EOS F116：さっすがあんたの母ちゃんならやるなと思ったよ。
- (14) F079：ブタやギューはね、(うん)体によかないけどね、おばあちゃんは鶏肉ならかなり食べてもいいって先生に言われるよ。EOS F001：ブタやギューだっていいんじゃないの？EOS F001：いけないの？
- (15) F130：みんな、何か、何のかんの言いながらくいくいと飲んでしまう。EOS F130：()
お恥かしい。EOS
- F154：ビールぐらいならへっちゃら？EOS F130：いや。EOS F130：ビール、あんまりなのよ、とか言いながら飲んでる。
- (16) F093：なんか朝起きてなんかするならさー、(うーん)、乾布摩擦。EOS F093：マラソンとかさ。

バの名詞接続ではデアレバという形も考えられるが、話し言葉ではナラを使用する傾向がある。バが名詞接続できないため、ナラ提題的用法の用例が多いと考えられる。⁶⁾

次に、書き言葉での条件接続辞ナラの用法について見ていきたい。書き言葉で最も多く見られたものも、仮定的な条件を表す用法で52.5%であった。

- (17) 議論が始まったばかりですから、すぐには実現しないでしょうが、将来このような学校がいくつかできるのなら、その一つを私に任せてほしい。必ず成果を上げ、実績を残す自信があります。(教育)
- (18) 仕入れで困っていれば在庫を融通したり、客足が悪いようなら宣伝を手伝う。(関

西)

(19) もし諸君が、互いに個人としての交際において、まったく相容れることのできない 人々であるならば、その間に僕があるからといって、何でも強いて友人づきあいをするにも及ばない。(プロ)

(17) は、動詞＋ノナラの形になっている。ノに接続し、ノダの意味を加えられることも論理的に前後の文脈を意識している書き言葉には有用である。(19) ではデアルナラバという文章語的な表現も使用されていた。接続する要素の多様性に加え、以上のような多用途から仮定的用法が書き言葉において半数以上を占めた結果となっているのだろう。

他の用法は僅差となっているが、その中で用例が多く見られたのは非条件的用法の接続詞的用法で、12.7%であった。

(20) 加えていまの時代、瞬時に売ってしまう、スピーディさを研磨していくことが不可欠だ。須田も、「中古・再生住宅の販売は、なにより鮮度ですよ。鮮魚店と同じ」と語っている。それならば、千差万別、売り方のストックは、たくさんあったほうがいい。販売力のある鮮魚店は、どんな売り方をするか考えてみればわかる。(田舎)

(21) 俯瞰した意識は、今は星空を漂いながら、砂粒のように小さな命の流れを、ただ見下ろしている。そこに保名の意思はあったのか？ と問うことに意味はあるのだろうか。個々の砂粒はあまりに小さすぎる。ならば、樟葉の意思は？樟葉は、本当にためらいなく保名を手にかけてたのか？ と問うことにも意味など見出せるはずがない。(安倍)

(22) 確かに自分で「お宅の問題はこれですよ。私が分析した結果、解決方法はこれだと思います」と言うほうが、お客様自身に解決策を探していただくよりおそらく容易だと思う。なぜなら、どの企業にも変わりたくないお家事情や組織のクセがあり、よほど規模の小さなオーナー企業でない限り、全社が一丸となって活動に取り組み、成果をあげるようになるには、時間も根気も相当必要だからである。(これ)

話し言葉では一文が長く、聞き手の反応を見ながら話を続けていくが、書き言葉では一文が適度な長さで切られる。その際に、前文とをつなぐ接続詞的用法が前後の文脈をつなぐために使用されていることがわかる。

3.2 話し言葉と書き言葉における条件接続辞ナラの用法の違い

ここまで話し言葉、書き言葉で出現頻度の高いナラの用法の特徴を見てきたが、話し言葉と書き言葉でナラはどのような違いがあるのだろうか。

まず、並列・列挙が2例ではあるが、書き言葉のみに見られた点が挙げられる。

(23) 初めはエレガンスなスタイルのヒトがカゴをぶらぶらぶらさげて歩く姿に違和感を感じないでもなかったが、数が揃えばオシャレに見える。なにより海辺の町だから

風景にはまる。加えてカタチがさまざまなら色も豊富だからカゴといつてもつい、TPOに合わせていくつか揃えたいくなるのだ。(どこ)

- (24) その子ネコにまたも中田がつけた名前は、「ジェニファー・ド・ヒル (Jennifer de Hill)」である。チャックがドイツの貴族ならば、こちらはフランス貴族のお姫様だった。(脳視)

話し言葉では並列・列挙の場合にはシヤテ、タラを使い、ナラは文章語的であると言える。一方、話し言葉にのみ見られたのはナライイ類である。

- (25) F023: 作ってるとあれだもんね。EOS F023: 結構待たせちゃうもんね。EOS F023: (うーん) EOS

F023: 手伝ってもらならいいけど。EOS F107: Fに手伝ってもらえばいいんだよ。EOS

F107: あっそうか、ニュージーランド料理作ってもらおうか。EOS F128: そうだよな。

- (26) EOS F107: ほいで、その次の駅がすごい遠くてね。EOS F023: あ、というか、カーブになっとなつて、で、カーブだけならいいんだけど、あの、高架の下をガーってくぐって、大きな道路の向こう側に出て。EOS F107: ほで橋渡ってさあ。

- (27) F024: はかまがなあ、予想外やったんや、高かって。EOS F140: レンタルどれぐらい? EOS

F024: 3万円からとか書いてあったから (うんうん) 3万円ぐらいならいいやと思ったの。EOS

F140: うんうん。EOS F140: でもさあ、着付けとかも全部。

(25) では許容することで他の方法を聞き手に示し、(26) (27) では事態が起こった時点での判断や評価を表すため、談話の持つダイクティックな特性が関与していると考えられる。

以上のように、ナラは話し言葉と書き言葉に共通して仮定的用法が多く見られた。これは、ナラがバ、タラ、トと性質の違いを仮定をし、また接続する要素の自由度が高いためだと考えられる。話し言葉では非条件的用法の提題的用法が22.2%、ナライイ類が14.7%と続いた。提題的用法は相手の発話した話題を引き継いで、それを取り立てて話を続けるため、多く現れ、ナライイ類は後件で判断や評価を聞き手に表すため、話し言葉で多く見られたと考えられる。書き言葉では論理的に前後の文脈をつなぎながら文章を書くために、接続詞的用法が多く使用されていた。

4. まとめ

条件接続辞ナラについて、名大会話コーパスにおいて話し言葉で最も多く見られたのは、

仮定的な条件を表す用法で38.0%であり、次いで、非条件的用法の提題的用法が22.2%であった。書き言葉については仮定的用法が52.5%と半数以上を占めた。また、ナライイ類は話し言葉にのみ見られ、列挙・並列は書き言葉にのみ見られた。ナライイ類は話し言葉のナラの14.7%に上り、3番目に多くの用例が見られた。条件接続辞における非条件的用法の評価的用法との関係も含めて、ナライイ、バイイ、タライイをどのように考えるべきか今後の課題としたい。

以上の結果を踏まえて、日本語教育の現場で活かすことのできる話し言葉と書き言葉の用例を挙げる。

話し言葉

①仮定的用法

動詞 コンビニに行くなら、アイスも買ってきて。

ナ形容詞 カフェが静かなら、そのままそこで勉強しましょう。

イ形容詞 動物がこわいなら、無理に動物園に行かなくてもいいですよ。

名詞 来る人が10人なら、もっと大きい教室に変えましょう。

副詞句 3時までなら、時間があります。

助詞 車でならすぐ着きますよ。

②提題的用法

動詞 秋に旅行するなら紅葉でしょう。

名詞 田中さんなら安心です。

副詞句 ハンバーグくらいなら作れます。

③ナライイ

動詞 みんなで行くならいいよね。

ナ形容詞 最近田中さん見ないですね。元気ならいいけど。

イ形容詞 質が少し悪くても、安いならいいけどね。

名詞 次の旅行、海外ならいいね。

副詞句 こんなにたくさん料理を食べて、2000円くらいならいいね。

助詞 1万円の本ですか。でも、有名な先生のならいいですね。

書き言葉

仮定的用法

動詞 私が作文を書くなら、もっと長く書きます。

ナ形容詞 時間が正確なら、実験もうまくいくはずだ。

イ形容詞 チームが弱いなら、練習をたくさんしなければならぬ。

名詞 田中さんなら何と言うだろうか。

副詞句 これだけなら普通の掃除機と同じだ。

註

- 1) 2010年度からの新試験では漢字、語彙、文法の出題基準が非公表になったため、最後に公表された2007年出版版にある項目を、慣用的用法の基準とする。
- 2) 分析の対象外とした例文は以下のようなものである。
 - (6) やりたい仕事なら、ならいいんだけど、全然、(うん うん うん うん) それでも。
 - (7) F095: きっと大丈夫だよ。EOS F058: 大丈夫かな? EOS F095: コンブが好きなら。EOS F095: なんかすごい酸っぱいーの。(6)は「やりたい仕事なら」の言い間違えだと思われ、(7)は前の発話を後件として前件をつくわえたもので、「コンブが好きなら大丈夫」の後件を省略したと推測されるが、「コンブが好きなら食べられる」等の他の推測も可能である。このような例文は推測ができるものでも本稿では分析の対象外とする。
- 3) 話し言葉のナライイ 49例中、ナライイは45例、ナラダイジョウブ3例、ナライヤ1例であった。
- 4) 方言話者に多く現れ、検討の余地があるが、本発表ではソレナラ、ホンナラの形を取るものはここに含めた。
 - (8) F081: ほんで、それで、もしやろうとやらまいと、もし失敗しても、彼はそういう考えを伝えたと思うやろうから、もうそれはそれで友達なんで。EOS F081: で、そう言われてみたら、私はそんなこと言わんでもええやんとか言いながら、実際はやめた方がいいやろとか思ってるわけやんか。EOS F081: ほんなら、それで、で、ママは日本的やって言うねんな。EOS F081: それを、やめた方がいいやろって思ってた、でも、今そこで傷つけんのは悪いと思って、そうやなー、頑張ってるかもなーとかって、(うーん)言葉濁したようなことを言うっていうのは、なんの意味もない。
- 5) 提題的用法74例中、名詞+ナラは57例、助詞+ナラ15例、動詞+ナラ2例だった
- 6) 寺村(1981)、前田(2009)等ではバの名詞接続形をナラとしている。

参考文献

有田節子(2007)『日本語条件文と時制節性』くろしお出版

稲葉みどり(1991)「日本語条件文の意味領域と中間言語構造」、『日本語教育』84号、日本語教育学会

大野剛・キンベリージョーンズ(2005)「文法規則の使用と形式の選択の実際: 会話における『条

- 件節』の観察から」、『言語学と日本語教育IV』くろしお出版
- 小野正弘 (2019) 「夏目漱石『心』の発話における文末構造—物語の展開ならびに内容との関わり—」、『表現研究』第110号、表現学会
- 国際交流基金 (2007) 『日本語能力試験 出題基準』
- 高梨信乃 (2010) 『評価のモダリティ 現代日本語における記述的研究』くろしお出版
- 鄭相哲 (2004) 『日本語認識モダリティの機能的研究—ダロウを中心に—』J & C
- 寺村秀夫 (1981) 『日本語教師用指導参考書 日本語の文法 下』国立国語研究所
- 奈良夕里枝 (2012) 「日本語条件表現における後件のモダリティー制約」、
『フェリス女学院大学文学部紀要』47号、フェリス女学院大学
- (2013) 『日本語条件表現とモダリティに関する研究』博士学位請求論文韓国外国語大学
- (2014) 「文のタイプによる非条件的な用法のバの出現様相について」、『日本語文学』
第63輯、韓国日本語学会
- (2020) 「日本語教育の実践におけるナラとナラバの扱い—文体差教育の一例として」、
『フェリス女学院大学文学部紀要』55号、フェリス女学院大学
- ニャンジャロンスック・スニーラット (1999) 「タイ語母語話者による条件説『と・ば・たら・なら』の習得」、『言語文化と日本語教育』18号、お茶の水女子大学日本語文化学研究会
- 蓮沼昭子 (1993) 『「たら」と「と」の事実的用法をめぐって』『日本語の条件表現』くろしお出版
- 蓮沼昭子・有田節子・前田直子 (2001) 『日本語文法セルフマスターシリーズ7条件表現』くろしお出版
- 前田直子 (2009) 『日本語の複文条件文と原因・理由文の記述的研究』くろしお出版
- 益岡隆志 (1993) 「日本語の条件表現について」『日本語の条件表現』くろしお出版

コーパス

名大会話コーパス：<https://dbms.ninjal.ac.jp/nuc/index.php?mode=viewnuc>

BCCWJ：http://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/

例文引用

- 安倍：『安倍晴明』小松左京（著）／高橋桐矢（著）、二見書房、2002
- 田舎：『“田舎”社長の成功経営術』鶴蒔靖夫（著）、IN通信社、2003
- 関西：『関西商魂』中森勇人（著）、ソフトバンクパブリッシング、2005
- 教育：『教育再生！』戸塚宏（著）、ミリオン出版；大洋図書（発売）、2003
- 決算：『決算効率化・戦略会計・会計に強い経営づくり』森川和行（著）、同時代社、2004
- これ：『これまでのシックスシグマは忘れなさい』眞木和俊（著）、ダイヤモンド社、2004
- どこ：『どこにいたってフツウの生活』松本葉（著）、二玄社、2003
- 脳視：『脳視ドクター・トムの挑戦』中野不二男（著）、大和書房、2005
- プロ：『プロメテウス』杉山秀子（著）、新樹社、2003
- 闇を：『闇を歩く』中野純（著）、アスペクト、2001

教科書

『みんなの日本語 I』第2版本冊、スリーエーネットワーク（著）、スリーエーネットワーク、1998

- 『みんなの日本語Ⅱ』第2版本冊、スリーエーネットワーク (著)、スリーエーネットワーク、1998
『J. BRIDGE FOR BEGINNERS Vol. 1』小山悟 (著)、凡人社、2007
『J. BRIDGE FOR BEGINNERS Vol. 2』小山悟 (著)、凡人社、2008
『できる日本語初級』本冊、嶋田和子 (監修)、アルク、2011
『できる日本語初中級』本冊、嶋田和子 (監修)、アルク、2012

本稿は、2019年10月25日、東北大学で開催された第367回日本近代語研究会2019年度秋季研究発表大会における発表内容を含む。当日、また、それ以降に頂いた種々のアドバイスに感謝します。

ENGLISH SUMMARY

How to effectively present the conditional expression *nara* in Japanese language education - From the classification of *nara* usage in spoken and written languages- NARA Yurie

In this paper, on the basis of language acquisition research, I investigate the usage tendency of *nara* in spoken and written language using a corpus-based classification system. The purpose is to provide a collection of example sentences for each usage that is useful for creating Japanese language teaching materials.

First, I compared the usage of the conditional suffix *nara* that appeared in the Nagoya University Conversation Corpus in the BCCWJ book core (2000–2008). In the conversation corpus, there are many instances of evaluation and final particle usage, being considered to be a discourse with a listener. Because the speaker advances the discourse while considering on the listener, many usage forms such as expressing desire and advance have appeared. On the other hand, it was found that there is a large amount of conditional usage in written language. Based on these results, I have provided typical examples of each usage.

Key Words: Conditional suffix, *Nara*, Spoken language, Written language, Corpus